

1. 科目名 (単位数)	臨床心理学概論 / 臨床心理学 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP2114
2. 授業担当教員	緒方 二郎		
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	臨床心理学として、その成り立ち、不適応や障害、病、苦悩の発生原因や発生過程、回復の過程を探る科学的側面と、問題を抱える人々に寄り添いながら、適応の調整や人格的成長を促進することで問題の解消や軽減を目指す実践的側面との両面を学ぶ。そのために、心理的援助を必要とする人々の心理を理解するだけでなく、問題を理解するアセスメントの視点から各発達段階に生じやすい心理的問題や障害を理解する。また、問題の解決に向かう代表的な援助の理論や技法について理解を深める。		
8. 学習目標	1. 精神疾患や発達障害を含めて、心理的問題を抱える人々の心理を理解し、説明できる。 2. 各発達段階における心理的課題や障害を理解し、説明できる。 3. 不登校・いじめ・虐待・自死・非行問題といった代表的な心理臨床の問題を理解し、説明できる。 4. 心理アセスメントの考え方と方法について理解し、説明できる。 5. 主要な心理的援助の理論と技法を理解し、説明できる。 6. スクールカウンセリングについて理解をし、説明できる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	学期中にグループによる発表を各2回ずつ行う。各グループで作成した資料や発表時のプレゼンテーションを評価対象とする。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 指定無し 【参考書】 ・村瀬嘉代子・青木省三(2014). 心理療法の基本 完全版. 金剛出版 ・成瀬悟策 (1968/2007). 催眠面接法. 誠信書房 ・相馬花恵・坂口典弘 (編著) (2024) . 臨床心理学 理論と実践をつなぐ 講談社 ・田中新正・鶴光代・松木繁 (編著) (2020). 催眠心理面接法. 金剛出版 ・山上敏子・下山晴彦(著) (2010). 山上敏子の行動療法講義 with 東大・下山研究室. 金剛出版		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 精神疾患・発達障害を含めた心理的問題を抱える人の心理の理解 2. 各発達段階における心理的課題と障害の理解 3. 代表的な心理臨床の理解 4. 心理アセスメントの考え方と方法の理解 5. 主要な心理的援助の理論と技法の理解 6. スクールカウンセリングについての理解 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 レポート課題 40％ 授業への参加 30％ 発表 30％ 以上で評価を行う。		
12. 受講生への メッセージ	この授業はグループワークが中心です。仲間たちと共に学び、協力し、高めあうことを求めます。本講義は心理学部の必修科目であり、また、公認心理師受験に必要な心理学基礎科目の一つです。そのため受講者が将来、心理臨床にかかわるであろうことを前提に、実践に役立つ思考力、創造力、問題解決能力、批判的思考力を育成することを目指しています。発表準備に参加しない、グループワークに参加しない、などは欠席扱いとなる場合がありますので、緊張感と集中力を持って授業に臨んでください。留学生の方は日本語でのプレゼンテーションが求められます。自分なりの言葉で構いませんので、積極的に参加して下さい。 臨床心理学の歴史から紐解き、なぜ臨床心理学が発展してきたのか、数多くの実践の中から、何が見出されてきたのか、そして臨床心理学がどのような方向性に向かって展開しているのかを意識しながら受講してください。		
13. オフィスアワー	詳細は授業中に説明します。質問がある時は、なるべく授業中に行っていただけると、皆で共有ができます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスを熟読しておくこと
		事後学習	授業の展開やスケジュールを確認しておくこと。特にグループ間での意思疎通を図っておくこと
第2回	臨床心理学の歴史	事前学習	臨床心理学の定義や歴史について調べておくこと
		事後学習	臨床心理学の歴史について説明できるようにしておくこと
第3回	臨床心理の専門職として活動するために	事前学習	心理職の活動について調べておくこと
		事後学習	心理職の専門性について説明できるようにしておくこと

第 4 回	社会で生きる臨床心理学	事前学習	社会において臨床心理学がどのように扱われているのか調べておくこと
		事後学習	専門性を発揮する為にどのようなことに留意すれば良いのか説明できるようにしておくこと
第 5 回	心理的アセスメント	事前学習	心理的アセスメントの定義について調べておくこと
		事後学習	心理アセスメントにおける倫理について説明できるようにしておくこと
第 6 回	アセスメントの理論と技法	事前学習	アセスメントの技法について調べておくこと
		事後学習	それぞれの技法の留意点について説明できるようにしておくこと
第 7 回	心理的アセスメントの活かし方	事前学習	心理アセスメントの実際について調べておくこと
		事後学習	アセスメントの留意点について説明できるようにしておくこと
第 8 回	臨床心理学の理論と技法 催眠	事前学習	臨床心理学の歴史を復習しておくこと
		事後学習	催眠の定義について説明できるようにしておくこと
第 9 回	臨床心理学の理論と技法 催眠の実際	事前学習	前回の講義資料を熟読しておくこと
		事後学習	催眠に関する様々な事象について説明できるようにしておくこと
第 1 0 回	臨床心理学の理論と技法 精神分析学の基礎理論	事前学習	精神分析について調べておくこと
		事後学習	精神性発達理論について説明できるようにしておくこと
第 1 1 回	臨床心理学の理論と技法 精神分析学の発展	事前学習	精神分析の批判についてまとめておくこと
		事後学習	それぞれの学派の立場を説明できるようにしておくこと
第 1 2 回	臨床心理学の理論と技法 人間性心理学とは	事前学習	人間性心理学について調べておくこと
		事後学習	ロジャーズの理論について説明できるようにしておくこと
第 1 3 回	臨床心理学の理論と技法 クライエント中心療法の理論	事前学習	中核 3 条件について調べておくこと
		事後学習	セラピストの態度が心理療法の結果に及ぼす影響について説明できるようにしておくこと
第 1 4 回	臨床心理学の理論と技法 行動・学習とは	事前学習	行動の定義について調べておくこと
		事後学習	授業で学んだことを整理し、まとめておくこと
第 1 5 回	臨床心理学の理論と技法 行動療法の理論	事前学習	不適応な学習とは何なのか調べておくこと
		事後学習	行動療法の技法についてまとめておくこと
第 1 6 回	臨床心理学の理論と技法 行動療法から認知行動療法へ	事前学習	認知行動療法についてまとめておくこと
		事後学習	不適切な認知のアプローチについて説明できるようにしておくこと
第 1 7 回	臨床心理学の理論と技法 認知行動療法の理論	事前学習	認知行動療法の基本モデルについて調べておくこと
		事後学習	近年の動向についてまとめておくこと
第 1 8 回	集団を対象とした心理療法 家族療法	事前学習	家族療法について調べておくこと
		事後学習	第 2 世代以降の家族療法について調べておくこと
第 1 9 回	集団を対象とした心理療法 集団療法・コミュニティ心理学	事前学習	集団精神療法について調べておくこと
		事後学習	コミュニティにどうアプローチするか説明できるようにしておくこと
第 2 0 回	精神疾患とその支援 精神医学の発展	事前学習	精神医学の歴史について調べておくこと
		事後学習	診断の変遷についてまとめておくこと
第 2 1 回	精神疾患とその支援 精神疾患における疫学	事前学習	疫学について調べておくこと
		事後学習	精神疾患の診断における疫学の有用性について説明できること
第 2 2 回	抑うつ症・双極症とは	事前学習	抑うつ症・双極症について調べておくこと
		事後学習	診断・評価方法について説明できるようにしておくこと
第 2 3 回	抑うつ症・双極症のメカニズムとその治療	事前学習	抑うつ症・双極症の治療について調べておくこと
		事後学習	心理学的メカニズムと効果的な心理療法についてまとめておくこと
第 2 4 回	不安症とは	事前学習	不安症とは何か調べておくこと
		事後学習	不安症の臨床評価についてまとめておくこと

第 2 5 回	不安症のメカニズムと治療	事前学習	不安症の治療について調べておくこと
		事後学習	不安症の維持要因と効果的な心理療法についてまとめておくこと
第 2 6 回	依存症とは	事前学習	依存症について調べておくこと
		事後学習	依存症状の特徴についてまとめておくこと
第 2 7 回	依存症のメカニズムと治療	事前学習	依存症の治療について調べておくこと
		事後学習	依存症の維持要因とその治療法についてまとめておくこと
第 2 8 回	統合失調症とは	事前学習	統合失調症について調べておくこと
		事後学習	統合失調症の歴史についてまとめておくこと
第 2 9 回	統合失調症研究の発展	事前学習	統合失調症の脳機能について調べておくこと
		事後学習	統合失調症傾向についてまとめておくこと
第 3 0 回	高次脳機能障害 認知症	事前学習	認知症について調べておくこと
		事後学習	認知症へのアプローチの狙いと技法についてまとめておくこと